



第195号 (昭和34年7月20日)
第3種郵便物認可

昭和49年11月10日 (毎月10日発行)

しにわか 報

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 小海正隆 定価 1部5円 印刷 白南風社

人口の動き

11月1日現在

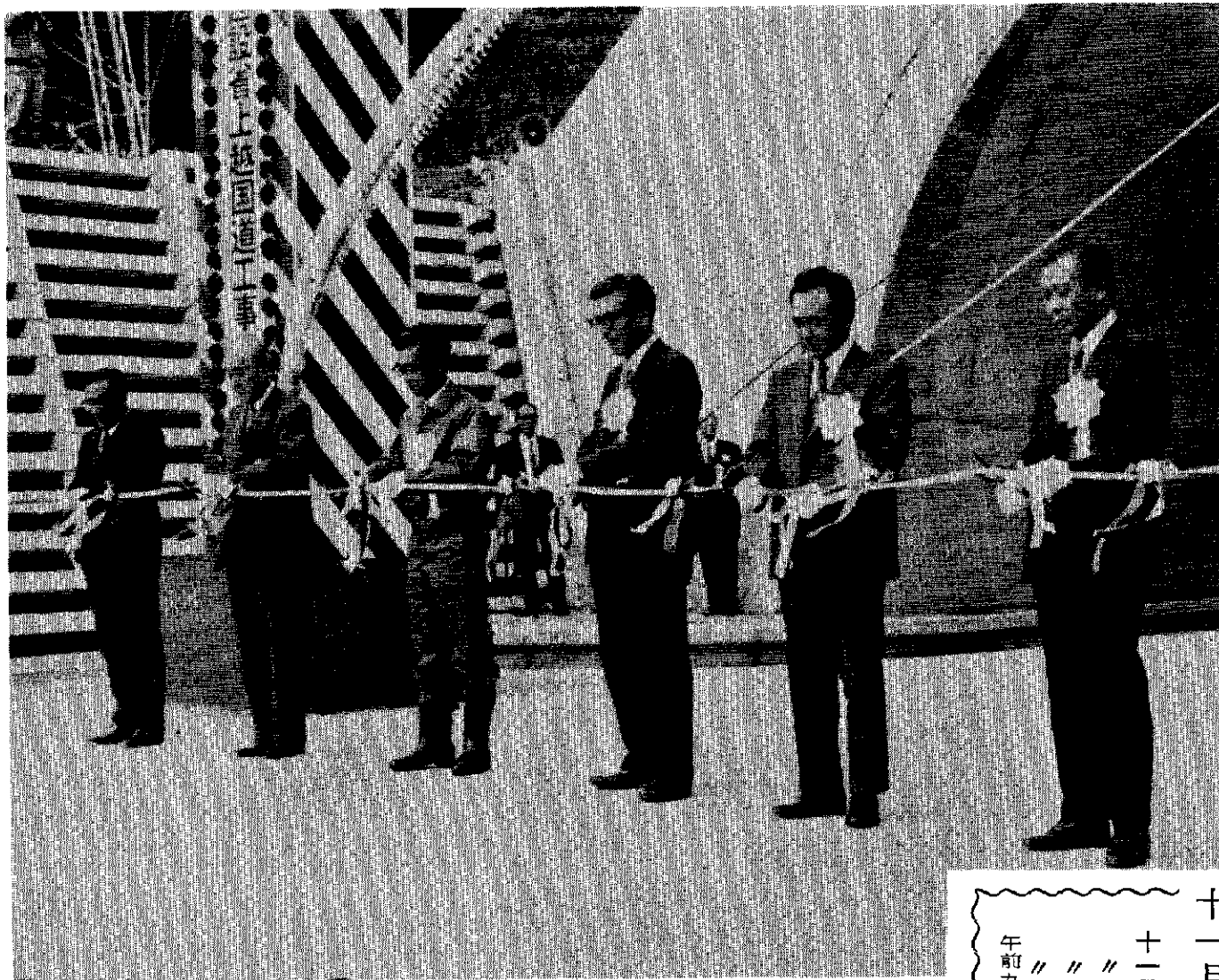
男 5,165 (-8)

女 5,261 (+5)

計 10,426 (-3)

世帯数 2,354

()内は前月との比較



越ヶ沢トンネル 紅葉のうちに テープカット

その後およそ七十台の車が、次の会場の仙田小学校まで、パレードをくりひろげ、祝福と安全祈願を行っています。

一方、仙田側ではあわせて完成した渡海橋も、この日から通行が開始され、橋の上から越ヶ沢方面にむけて、部落中総出でパレードを歓迎、日の丸の小旗や、ブラスバンドで、最近にない大きなできごとにわきあがっていました。

待望の越ヶ沢トンネルがしゅん工し、先月二十四日に開通式が行われました。

田中総理大臣(代理)をはじめ地元選出の国・県会議員や、近隣市町村長など、多数の来賓を迎えての開通式は、はじめにトンネル入口で現地式典を行いました。

現地では、二五二線期成同盟会長や、根津町長など六人の手によって、テープカットが行われ、工事従事者、用地協力者の代表によってクス玉がわられてクライマックス、銷秋に映えるあざやかな好景が展開されました。

十一月の休日救急医

(急患以外は受付しません)

十一月一日 庭野 医院 TEL ②二七一

一七日 大島 医院 TEL ②二九五七

二三日 至誠堂医院 TEL ②三七六

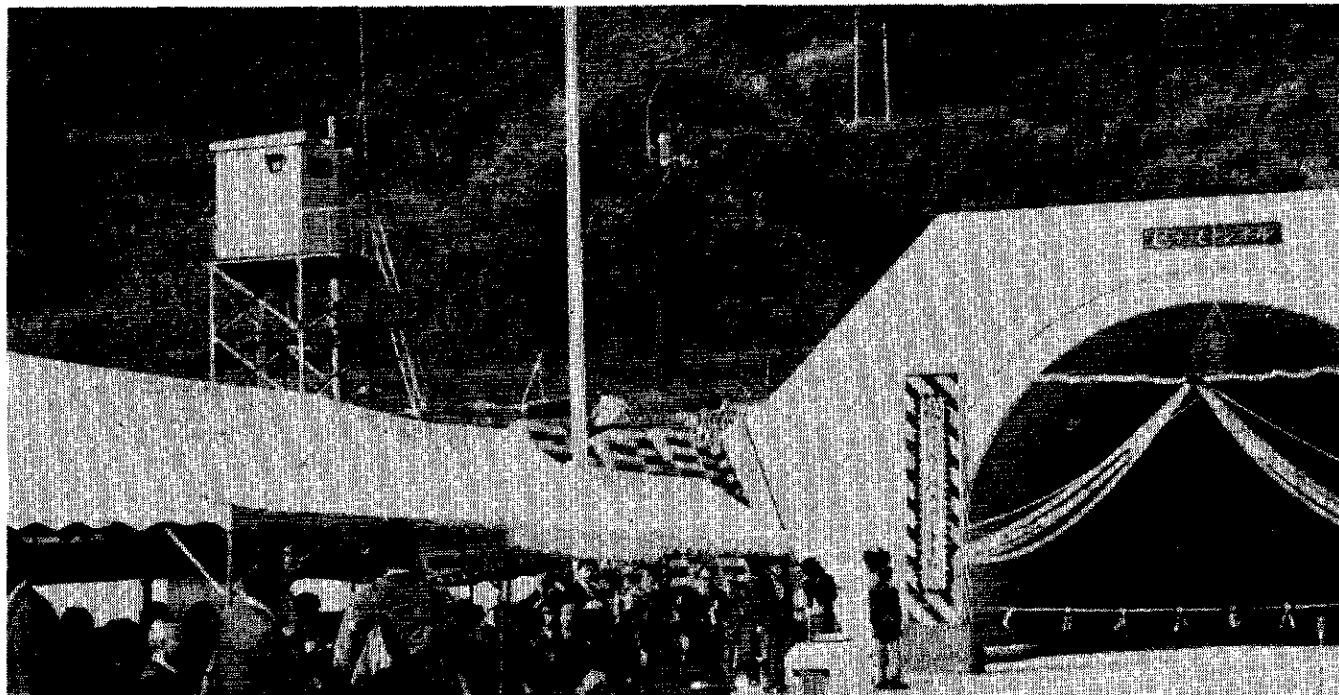
二四日 十日町病院 TEL ②三六一

午前九時から午後五時までの時間を厳守してください。

する開発の可能性

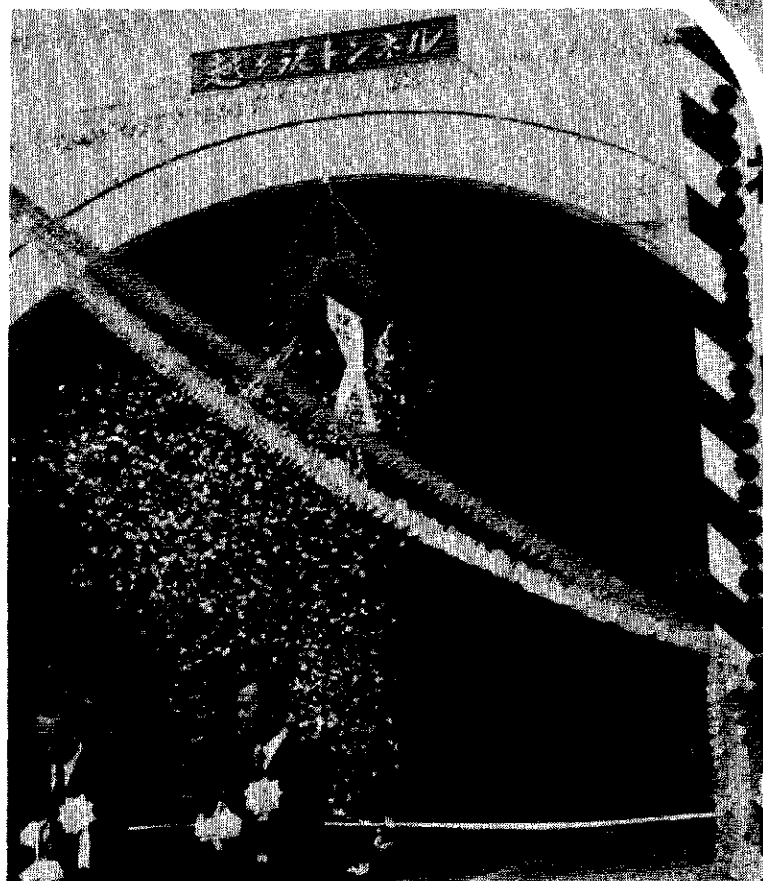


の窓をあけた252全通



▲現地式典風景

▶工事代表者、用地協力者の手で開かれたクス玉



開通した越ヶ沢トンネルは、延長が五百五十四メートル、つづら折れの難所と言われていた峠（若の窪）をいっきに解決し、松葉沢の溜池を見おろすゆとりもなく、あっという間に越ヶ沢部落に到着できることになりました。

また越ヶ沢、中仙田間で一部防雪工事が続けられていますが、上野から中仙田までのおよそ五キロメートルは、全線舗装が終了し、車での所要時間は、今までの約三分の一くらいまでに短縮される見通しです。

町の動脈とも言われるこの道路の完通は、いろいろの面で明るい話題を提供してくれています。冬期間の完全無雪計画をはじめ来年予定している中学校統合を容易にする一方、十日町市、柏崎市との交流も円滑となり、一日生活圏の範囲が拡大されるほか、工場誘致その他産業面へ与える影響も大きなものと期待されます。

過疎地として、従来はとかく暗いイメージの多かった仙田地区が一躍脚光を浴びることとなり、開発の可能性を一層大きいものとなりました。

越ヶ沢トンネル開通



▲開通式典で謝辞をのべる根津町長

▶パレードを迎える地元の人たち



新し
づくめの仙田小
こんどは
屋体がしゅん工

春以来不自由をしていた仙田小学校に、立派な屋内体育館が完成し、先月二十一日に関係者や全校児童たちが喜びの祝賀会を行いました。

新しいかおりいっぱいこの屋体は、六月に工事を始め、わずか四か月余りで完成をみたもので、鉄筋コンクリート造りの延面積は六百四十一平方メートル、一階はバレーコート一面がとれる運動場

ほか、ステージ、便所などを備えています。また、二階には更衣室を設けて、地区の人たちの利用にも役立てることになっています。総工費およそ五千三百万円、近代建築にあわせて、体育用具もびかびかのものが備えられ、児童たちの喜びもひとしおでした。

児童代表の高橋文子さんは、「高い天井、夢のような照明設備、劇場を思わせるステージがわたしたちのものとなり、まるで幸福の女神が訪れたようです。これから強い心とからだを鍛え、みなさんの恩に報いたいと思います。」とお礼のことはをのべていました。

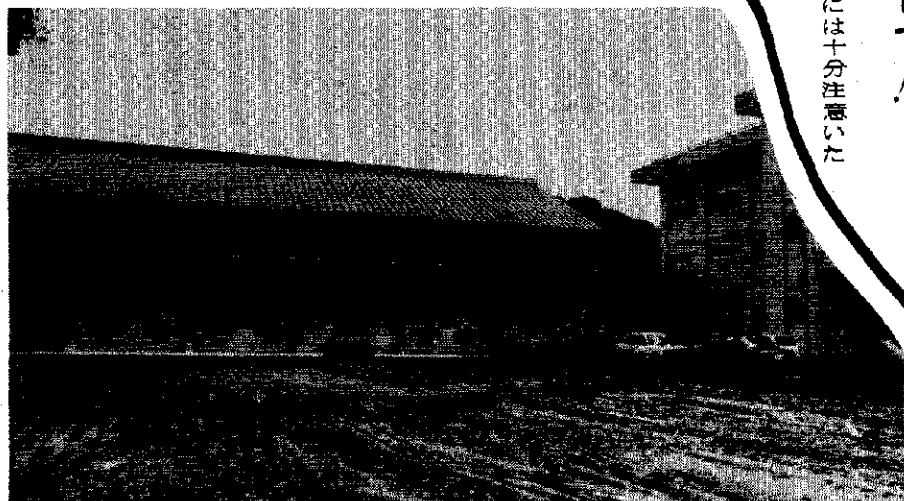
今年春開校したばかりの校舎、引続いてスクールバスの購入、さらに今回の屋体しゅん工と、新しいかおりが充満の仙田小学校、父兄ともども喜びいっぱいの表情でした。

祝体育館竣工



▲うた声に感謝をこめて

▼完成した屋体全景



事故には充分注意して!!

道路が良くなると交通事故が多発するというひびく現象が過去にあります。特にこの越ヶ沢トンネル附近はゆるやかな勾配と、カーブが続きながめも良いことから、事故発生の心配が付きまといまいます。

お互いに事故には十分注意いたしましょう。

医療費

追いつかぬ保険料

節約につとめましょう

医療費が十月一日から再び引上げられました。

二月に十七・五パーセント上がり、今また十六パーセントと、都合三十三・五パーセントという、大幅な引上げとなりました。

またまたアップの

加えて老人や妊産婦の無料化や、高額療養費支給制度の実施と、公費負担の額も大幅に増額しています。

医療費が増えと高くなるのが保険料です。国が出してくるのは四割、それにいくらかの交付金もありますが、ほかは毎月の保険料でまかなうことになります。

不足分はほとんど保険料を上げてゆくにになり、その分はみなさん自身へまわって行くことになります。

値上げした一例を見ますと、まず、往診費が今までの約四倍になります。二キロまで三百七十円が千五百円に、二キロを超すと、百六十円が七百円です。また、深夜加算や休日、時間外加算も大幅に上がりました。

医療費にもっと関心を

自分は無料だからといって、同じ病気で何か所もの病院へ行った

収も遠くない気配です。高額保険料は、家計にも大きく影響して来ますが、安い保険料を望むなら、それは、医療費に関心をもち、節約に協力し支払いを少なくすることです。

また、ふだんから十分な休養や栄養を考え、体力を鍛える等治療より予防の面にもご注意ください。参考までに昨年九月と今年の九月の支払い医療費は次のようです。昨年、一千四百四十万円。今年、一千七百四十八万三千円。増額分、七百八万三千円。

克雪管理センター

丸山工務所が施工

民俗資料館を田戸に移動

議会報告

町議会は、去る五日に第八回の臨時議会を開きました。先にお知らせの克雪管理センター建設の、請負契約の議決を中心としたもので、この結果株式会社丸山工務所が七千五百円で工事をを行うことに決まりました。

この日は、午前十時から同センターの入札を行い、最低入札者の丸山工務所と仮契約を結んだのち、十一時から開会の議事に提案原案どおりの議決を得て、正式に同社と本契約が結ばれることとなったものです。

契約によると、完了期限は来年の十月三十日、工事期間は三百六十日と長期にわたりますが、今年の降雪前にある程度工事を進めておく必要があることなどから、議

となり、民俗資料館として完足し完成した町営住宅も、この条例改正しました。あわせて栄町及び高倉に正で追加されています。

献血十回以上の

小林さん・根津さんなど

日赤からの表彰続々と――

日本赤十字社は、人々の平和を願い、しあわせな社会を築くことを使命として、国の内外を問わず広く活動を続けています。社費納入などによって、みなさんその活動の一端をにない、おなじみのところですが、この赤十字社から、いろいろの部門で町関係の大勢の方々が表彰されましたので、ご紹介いたします。

まず、九月六日新潟市において県赤十字大会が開催されましたが、名誉副総裁常陸宮妃殿下をお迎えしての席上、川西町分区分が社員増強など、多数の業績により表彰されました。

続いて十月二十六日には、同じく同社の事業の一つである「第六回愛の血液助けあいのつどい」において、事業推進の功労者及び団体の方々が受賞されました。

また、先月末日には、社業実績功労者六名に対して、特別社員証書が届けられています。

みなさんが、日ごろから赤十字活動を深く理解され、ご協力いただいている姿勢のあらわれであり心からお礼申しあげます。

受賞された方々は、次のとおりです。(敬称略)

※赤十字大会での受賞者
一、支部長表彰

訓練生の募集

県立十日町専修職業訓練校では、「織機調整科」「染色科」「デザイン科」の訓練生を募集しています。

・応募資格
男女を問わず、但し色神が正常であること。

・応募手続き
入学願書、職業相談票を安定所または、同校へ提出のこと。

・応募締切り
昭和四十九年十一月十九日

・選考日時
昭和四十九年十一月二十七日

・訓練生には特典があります
細部は同校へ。

続いて納め、合計が三千元以上に達した社員に与えられた称号です。なお、昨年は、川崎正子(学校町)、根津新一郎(根津)の方々が献血十回以上により、銀色特別社員の称号がおくられています。

血液代金が

無料に

今年の四月から、輸血を受けた場合の血液の自己負担金が無料になっていきます。

あなたの申請により赤十字が支払うもので、無料の手続きなどについては、輸血を受けた医療機関でおたずねください。

すこやかな成長を!!



赤ちゃん表彰式

20人が入賞

が見られました。
入賞は、次の二十名の入賞者たちです。(敬称略)

先月二十二日、母子健康センターにおいて、四十九年度町の赤ちゃん表彰式が行われました。
まるとした、かわいい赤ちゃんたちの、にぎやかな表彰風景

善意

消防指令車購入にと

上野の富井歯医者さんの

の寄附

町の消防団長として、長年おつとめいただいた上野の富井正治さんは、先月一日急逝されましたがご遺族の政光(富井歯科医院)さんから、香典返しとして、消防指令車購入資金の寄附がありました。政光さんは、故人がかねがね町に消防指令車がほしいものだ、と

特殊車のため納車に手間どり、残念ながら本号で写真を掲載することはできませんでした。

国体帰りの

清水さん

体育館建設資金に二万円

茨城国体(相模青年の部)に出場した東善寺・清水隆さんから、このほど、町の体育協会を通じて町民体育館建設資金にあててほしいと、寄付金二万円が寄せられました。

清水さんは、国体へ出発前の壮行会をはじめ、皆さんのご支援をいただいたことに對するお礼の意、味あから寄付を思い立ち、その使途や取り扱いを、体協の関係者に一任しておりました。

この清水さんの寄附を受けたかたがたで、角道会関係とも相談の結果、懸案の町民体育館建設資金として、町に寄付するのが最もふさわしいということで、今回の寄付となったものです。

なお、国体における清水さんの活躍ぶりは、団体戦と個人戦通算五勝二敗という、りっぱなものでした。

沢口さんから

香典返し

下平新田の沢口保夫さんから、先に亡くなられた父武三郎さんの香典返しとして二万円の寄付がありました。また、匿名で拾い物

婦人会員が

町内めぐり

絶好のハイキング日よりとなつた去る日、千手地区婦人会員二十三名が、町内めぐりを行い大いに見聞を広めた。

とかく外出の機会が少なく、同じ町内と言えどもまだ行ったことがない、見たことがないといった婦人が多いことから、公民館では毎年の行事として行っているもので、今年もこれが三回目。

ぐすつき気味の秋空も、美女貴婦人を迎えて、この日ばかりは上気、プウプウ重そうにありえくバスとは対象に、キアキアはしゃぐ婦人たちが、一声だけ聞いていればまるでムスメの謝礼としていただいた千円を寄付された方もあります。いずれも

町内さんぽ



すばらしい町内めぐりとなることだろう。広報、広聴活動でも是非企画したい催しである。

青年僧侶の会が

心身障害児にはげましの托鉢

中魚沼郡市内の禅宗、青年僧侶の会では、このほど当町の一部で托鉢を行いました。集まった浄財五万二千八百八十二円を、町社会課を通じて、郡部心身障害児救済に役立ててほしいと、その金額を寄付されました。

体験発表まじえ

保健衛生大会

町公衆衛生推進協議会は、地区衛生組織活動の強化をはかるため

九月二十九日、総合センターで保健衛生大会を開きました。

昨年に続いて二回目の大会で、各地区の婦人会や、衛生推進員など百五十名が参加、地区実践活動の発表を中心に、活発な意見交換が行われました。

実践活動の発表は、山野田町内の宮啓一さんが「献血の必要」と組織化について、木島町の小林健三さんが「木島町の環境衛生推進について」、田戸の樋口栄助さんが「私の歩んだ道」で、体験を通じての苦労話や、地区ごとの組織活動の必要性を訴えたものです。

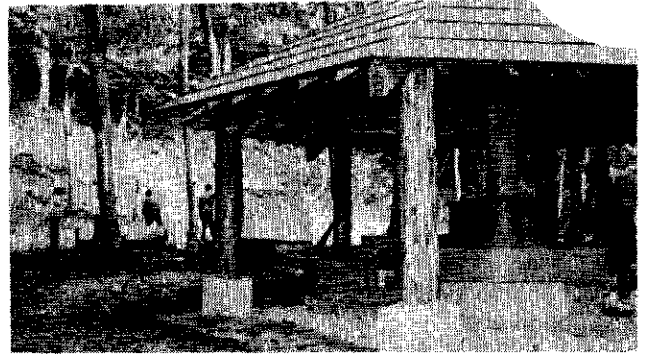
なお、推進協議会副会長の藤田宏太郎さんから、「これからの地区衛生組織活動のあり方」と題して、約一時間の講演があり、この大会の幕としました。

ぶな林に炊飯 施設が完備

長福寺裏山のぶな林に、このほどすばらしい炊飯施設ができました。

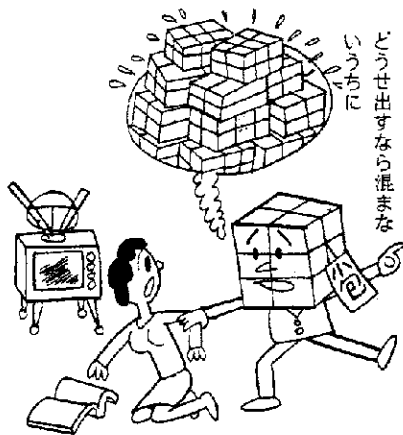
六角棟の中には、給水施設や、かま場まで設けられてあり、北側に完成した便所とあわせて、キャンプや、山遊びが一層楽しくなります。

完成と同時に、二六公園(ぶな林)保存会では使いそめを行っていました。が、衛生的な施設の完成に、みんな満足そうでした。



年末はこみあいます

贈答品小包は早めに



お年玉つき年賀はがきは、今月五日から発売されていますが、年賀状の差出しより一足早くラッシュを迎えるのが、年末の贈答用小包です。

郵便局では、この月になると、ふだんの月の三倍もの郵便物を取り扱いますので、贈答用小包などは早めにお願います。

- また、郵便物をまち
- 新婦 清水 文一 中屋敷
 - 新婦 小杉 幸子 十日町から
 - 新婦 齋木 輝夫 発電所通り
 - 新婦 茂野 栄子 藤沢から
 - 新婦 登坂 敏彦 岩瀬
 - 新婦 富井 静子 十日町から
 - 新婦 数藤 政信 沖立
 - 新婦 月岡 良子 十日町から

戸籍の窓から

たかさごーご円満に

赤い羽根

あと一歩、引続
いてご協力を!!

がいなくお届けするために、次のことにご協力ください。

▲郵便番号等はつきりと郵便番号、住所、氏名が正しく書かれていないと郵便物が迷子になります。

特に田舎やアパートの棟番号をしつかりと、また、下宿や同居などの方には、世帯主名も忘れずにご記入ください。

▲荷造りにも注意して小包は、じょうぶな包装紙やヒモで荷造りをして、中身がとび出さないようにしてください。

特に、サケなどのナマ物は、水物がでないようご注意ください。

戸籍のはなし ①

戸籍は日本国民の登録です。出生、死亡をはじめ、婚姻、養子縁組など、人間の身分関係を公簿(戸籍簿)に記載しておき必要となるときにその証明ができるよう、親族関係、身分関係を明らかにしておく制度です。

このように大事な戸籍は、みなさんの届出によって作られます。

子供が生まれたら十四日以内に、両親が亡くなったなら七日以内に、正しく、すみやかに届出をしてください。

庁内人事

- 採用/十月一日付
- 高校川西分校・高橋英一、仙田
 - 小学校・小林勇一
- 退職/十月三十一日付
- 教育委員会・富井久美子、橋保
 - 育園・水落マル子
- 昇天/ごめい福を祈る
- 富井 正治 上野 五七
 - 水落ギョウ 仁田 五九
 - 高橋 雅司 上野 六八
 - 高橋 平治 赤谷 八三
 - 山田 ケイ 仁田 八四

納税メモ

国税と地方税

国税(直接税) 所得税・相続税・贈与税など

(間接税) 酒税・印紙税など

地方税(道府県税) 事業税

不動産取得税・自動車税

など(財務事務所が所管)

(市町村税) 市町村民税・固定資産税・軽自動車税など

市町村が課税

国税と地方税は、その性格から課税標準の算定が同一ではありません。(以下次号)

今月は固定資産税の第四期の納期です。

かわにし俳壇

太田白南風選

松風園 南雲文峯

深々としづかに動く菊の秋

中天の片割月や虫の夜

有明の月の残れる渡り鳥

中仙田 仙 蒼子

人はみな赤い羽根つけ霜の町

物売りの声かき高し鶴雲

山峽に蜻蛉のとぶきのことり

白倉中三 義 仁

滞省して村路なつかし落葉道

初霜を踏んで元氣な登校の子

小白倉 片桐玉章

山茶花の咲きのびている垣根越

峠茶屋ふもとに下りて初雪す

小白倉 江口凡石

秋晴れの朝空高く風き澄めり